

～超音波骨密度計LD-100で骨密度測定を受けられた生徒さん・ご家族の皆様へ～

「若年層骨密度の標準値作成」に関する調査へのご協力をお願い

今回、同志社大学は、「若年層骨密度のデータベース作成」に関する研究を実施いたします。超音波骨密度計LD-100にて骨密度測定を受けられた生徒さんの骨密度、質問票を調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

中・高校生は骨形成の盛んな時期であり、特に女性は18歳前後で骨形成が完了してしまうとの報告もあることから、この時期の骨の状況を把握することは、将来の骨粗鬆症を予防するうえで非常に重要です。しかしながら、最も測定する必要がある世代における骨密度データが乏しい状態にあります。

今回の取組は、体重の影響を受けていない非荷重骨である手首のとう骨の骨密度データを収集し、中・高校生の骨密度の標準値を決めることを目的としています。これを基にして、健全な骨成長を実現するための、栄養や運動の指導につなげたいと考えています。

研究の方法

- ・対象となる生徒さんについて
参加を希望され、超音波骨密度計LD-100で測定を受けられた中学生・高校生が対象となります。
- ・方法について
性、年齢別に分け、骨密度測定値の平均値を求めます。また、質問票の結果との関係も解析します。
- ・資料の管理について
情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自身、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、骨密度測定日から1か月以内に下記連絡先までご連絡ください（お渡しした「説明文書」もしくは「骨密度測定結果」に記載されているコード番号もお知らせください）。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、同志社大学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先：

同志社大学 超音波エレクトロニクス研究室

職・氏名 教授・ 松川 真美

研究員・ 眞野 功

電話：0774-65-6300